



鳥海山・飛島ジオパークの見どころ

飛島は日本海を南北に連なる海底山脈のてっぺんにあたります。今から1600万年以上の大昔に海底の火山から吹き出した噴出物が海底に積み重なり、後にそれが盛りあがりながら波や風雨に削られてできた島です。飛島のいたるところで、大地と海の営みによってできた地形や風景をみることが出来ます。

南と北の動植物が同居する特徴的な生態系、海を生業とする人々によって培われた漁村の生活や文化もジオパークの見どころです。「大地・自然・文化」の多様性を意識しながら飛島を散策してみたいかでしょう。きっと新しい発見に出会えるはずですよ。



海が削る

島の周りには、干満によって陸と海を繰り返す浅瀬が広がっています。島の隆起にともなって長い年月をかけて波に削られてきたものです。島の西部のコトロ浜には波に削られてきた高い崖があり、海底火山の噴出物が積み重なった数千にもおよぶ層が見られます。飛島がかつて海の底にあったことがよくわかります。

冷えて固まる

島の西沖に位置する鳥帽子群島は、安山岩でできた島々です。マグマが地上や海中で冷えて固まる時には体積が縮んで歪みが生じます。そのときに規則正しく割れて節理ができることがあります。鳥帽子群島には、鉛筆のような六角形の柱状の節理がたくさん見られます。飛島では「材木岩」と呼ばれています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
食	冬	岩のり・カスベ・アワビ・ナマコ・ヤリイカ・タコ・タラ		春	ワカメ・アラメ・メカブ・カメテ・グン・ホック・メバル・スカドリ・島竹		夏	トビウオ・サザエ・いぎす・イカ・もずく・えご・グッチョ・こども・トビシマカンゾウ	秋	ヤリイカ・アワビ・おはダコ・塩辛・ソナ		
釣り		タラ	ヤリイカ	カレイ		メバル	スルメイカ	タナゴ		アオリイカ		メバル
野鳥												
植物												
生活												

TOBISHIMA TOPICS 笑顔あふれる島づくり

地域づくり編

2001年より、毎年5月の最終土曜日に、島民、NPO、大学、市、県、海上保安部、業界団体等による実行委員会形式で、市民ボランティアを募り「飛島クリーンアップ作戦」が西海岸において実施されています。全国の多様な主体の協働による海岸清掃のモデルとなり、これをきっかけに島を応援する団体が多く生まれました。

2011年からは、島民、島の応援団、行政からなる「とびしま未来協議会」が発足し、島の未来を考え、島民主体の離島振興計画や地区防災計画づくり、島の魅力発信、特産品づくり、移住促進などの事業を推進しています。

そういった新しい取り組みの中で、ここ数年、さまざまな世代のUターン者が島に移り住み、飛島小中学校も再開することで、島を元気づけています。



TOBISHIMA TOPICS とびしまの食の楽しみ方

食堂・カフェ編

勝浦港周辺には、島の旬の食材を用いた創作メニューを提供する「しまかへ」が、また飛島だしにこだわったメニューが人気の「島の駅とびしま」がマリンプラザ2Fにオープンしています。

また、島ならではの昔なつかしい中華そばを味わえる「本間食堂」(民宿あつま荘)では元祖とび魚だしの「飛っ子ラーメン」、[西村食堂](勝浦港周辺)ではトビシマカンゾウの花漬をトッピングした「島のラーメン」がおすすです。



TOBISHIMA TOPICS 最近の島のホットな話題です

自然編

カラカサノイボ
2009年に、日本の国土保全のために、新たに名前が付けられた158島の国境離島うちのひとつで、御積島に近い小島。ユニークな名称で注目を浴びました。

ノドリムシクイ
2011年5月には日本初記録の珍鳥「ルリビタイジョウビタキ」が、2011年11月には日本で2例目の珍鳥「コウテンシ」が、そして2015年10月には日本初記録の珍鳥「ノドリムシクイ」が飛来するなど、日本で初記録、または数例目の渡り鳥が度々確認されており、バードウォッチング界を賑わせています。

カムムリウミスズメ
カムムリウミスズメは、ムクドリほどの大きさの海鳥で、日本では伊豆諸島周辺など暖かい地域に繁殖・生息する絶滅危惧種です。飛島では以前から観察されてきましたが、平成26年の調査で繁殖している可能性があることがわかりました。「北限のカムムリウミスズメ」として話題を呼び、調査活動が進められています。

飛島の楽しみ方
飛島で自然散策を楽しむには、事前にそれぞれの窓口で予約が必要です。飛島には、都会の便利さはありませんが、自然と歴史が作り出す不思議の数々をゆったりと楽しみましょう。

波の高いときの海岸遊歩道の注意点
勝浦地区にある海岸遊歩道は、波をかぶるときがあります。通行時は十分注意してください。また、波のあたる場所は海藻が生え、滑りやすくなっていますので注意が必要です。
携帯電話 通話可能地域
農免道路から住宅地寄りには通話可能ですが、飛島海岸等西側には通話できませんのでご注意ください。
津波に関する情報が出たときの対応
<ul style="list-style-type: none"> 大きな揺れを感じたら、近くの階段を逃げて速やかに高台へ避難してください。 近くに階段がないときは、海岸線等を含め海面から10m以上の高さまで避難してください。 飛島では、農免道路が第一次避難場所になっています。 被害が甚大で避難が及びく場合は、中村地区にある山グラウンドに避難してください。 避難後の行動は、島民代表者と一緒に行動してください。 避難時は、島民代表者の指示に従ってください。
予約・相談等一覧
【宿泊予約等】 各旅館民宿(宿泊、遊漁船・遊覧船、昼食) 【自然案内】 ■島の駅とびしま 0234-96-3800(とびしまマリンプラザ内) ■酒田市観光ガイド協会 0234-24-2454(酒田駅構内) ■日本野鳥の会山形県支部、猛禽類保護センター活用協議会 【野鳥観察/ダイビング/海の公園】 予約不要▶開演日 4月第4土曜日~10月第3日曜日 休演日 毎週水曜日(祝日と7月20日~8月20日除く) ※入園料・貸手・無料 えさ・しり・有料

釣りに二俣島



【島渡し・船釣り】
御積島周辺と鳥帽子群島、二俣島などの岩場や船釣りでは、60cmを超える大型のマダイ、クロダイ、コブダイ、インダイ、メジナなどがあがります。

【島内】
防波堤や浅い岩場、港内では良型のアジ、アイナメ、ウミタナゴ、ヒラメなどが釣れます。

【海づり公園】
釣り桟橋からは、初心者でも安心して釣りを楽しむことができ、海中観察室から海底の様子や餌に群がる魚を観察することができます。

POINT
島渡しや船釣りは、宿泊する旅館・民宿で手配してくれます。

磯遊び



【小松浜】
飛島唯一の海水浴場で周囲が岩場で囲まれた地形のため、波の出入りが少なく安心して遊べます。西側には桟橋があり、シュノーケリングでは磯辺の生き物や小魚が群れる様子が観察できます。夜になると海中で夜光虫がキラキラと光る光景が楽しめます。

【荒崎、ゴトロ浜、オボケの浜】
遊歩道はありませんが、海沿いを歩きながら貝殻拾いや磯歩きが楽しめます。

また、海岸には緑色火山弾、石英脈の破片、溶結凝灰岩など、珍しい岩が転がっています。

POINT
海藻やサザエなど魚介の採取行為は禁止されています。磯遊びは、危険が隣り合わせのため、常に緊急避難を念頭に入れて行動しましょう。

バードウォッチング



飛島は渡り鳥の中継地として名高く、春(4月下旬~5月中旬)と秋(9月下旬~11月中旬)には日本では珍しい大陸系の鳥などが通過していきます。約300種類の鳥が記録されています。

長旅の疲れを癒す渡り鳥が畑を探す姿やフェンスに止まる姿がたびたび観察されており、普段は目にするのが難しい珍鳥の姿を間近に観察することもできます。

野鳥観察の定番は、農免道路周辺の畑を北に向かい、山グラウンド、緊急ヘリポート、とびしま総合センターへと島内を一周するコースです。

POINT
珍鳥の観察は、野鳥の発見情報の入手が一番の早道です。初心者には観察会への参加や専門案内の依頼がよいでしょう。畑、小中学校の敷地には無断で入らないようにしましょう。

花・木



植生の北限とされる「タブノキ」は、宮谷沢ダム、高森神社、巨木の森が見ごたえがあります。館岩や海岸線では、寒地系植物のオオバナノミナグサやハマナスなどの野草が花を咲かせ、岩肌には暖地系植物のハイバクシンが生えています。

農免道路より北の遊歩道周辺では、オオミスミソウやキリンソウなど山地に生育する野草が花を咲かせ、飛島は北限とみられるムベ、ヤブミョウガが生育しています。

荒崎では、固有種とされるトビシマカンゾウやスカシユリ、オニユリが群落をつくり、荒崎頭部(けいふ)の植物群落として酒田市の天然記念物に指定されています。

POINT
酒田観光ガイド協会、島の駅とびしまで案内してくれます。

絶景・朝日・夕日



【館岩】
定期船の入出港、勝浦・中村集落が見渡せます。

【海岸遊歩道】
御積島・鳥帽子群島が見渡せます。

【荒崎海岸】
日本の渚百選に選ばれた景勝地です。春にはスカシユリ、初夏にはトビシマカンゾウ、盛夏にはオニユリが群生します。

【八幡崎・渚の鐘】
荒崎から田下まで西海岸を一望できます。

【鼻戸崎】
寺島周辺のエメラルドグリーンの海、日本海の向こうには鳥海山が浮かび上がります。

POINT
朝日は鳥海山の方向から昇り、夕日は御積島・鳥帽子群島の方向に沈みます。夕日が沈むと周囲がまっ暗になるので注意が必要です。また、旅館・民宿の食事の時間を十分確認してから出かけましょう。

ダイビング



島の周辺は対馬海流の影響で、東北の海とは思えないほど温暖で透明度が高く、貴重なサンゴが群生し亜熱帯性の魚が生息するなど、ダイビングに最適です。

初葉、御積島近くの海中洞窟では、産卵のために訪れるドチザメを観察することもできます。館岩内側(港側)は飛島サンゴ類群棲地として県指定天然記念物に指定されており、ムツサンゴ、東北では珍しいオノミチキサンゴが群棲しています。

POINT
ダイビングをするには、事前に資材の準備、運搬、船の手配が必要です。県内のダイビングショップにお問い合わせください。